

授業科目名	演習	単位数	2
担当名	中川 純	教場	303ならびに館内
科目概要及び到達目標	<p>金剛禅の教義や金剛禅の主行としての少林寺拳法で学んだことを日常生活で実践することを通して、開祖が目指された人づくりとはどんなものであったかを体験的に学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金剛禅の教え(自他共楽)の実践を体験的に学ぶ。</li> <li>・物事を実施する上で計画(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→改善(Act)を学ぶ。</li> <li>・物事を実施する中で、各人の役割(リーダーやフォロワー等)を学ぶことを通して自他共楽の教えを理解する。</li> </ul>		
講義内容・授業計画	<p>1: ガイダンス GWの予定表、館内作務の企画書作成の説明</p> <p>2: 学生企画、館内作務の実施</p> <p>3: 宗道臣デーについての解説</p> <p>4～6: 館内作務(校門のペンキ塗り)の実施</p> <p>7: 作業企画のプレゼン、達磨祭についての周知</p> <p>8～10: 学生企画、館内作務の実施</p> <p>11: 達磨祭の企画決定ミーティング、日本語ドリルの実施</p> <p>12～13: 達磨祭準備</p> <p>14: 達磨祭総括</p> <p>15～16: 研修旅行、芸術鑑賞の企画作りとプレゼン</p> <p>17～20: 学生企画、館内作務の実施</p> <p>21～23: 館内大掃除の実施</p> <p>24～27: 館内作務のマニュアル作り</p> <p>28: まとめ</p>		
テキスト			
参考文献	『宗道臣デーのてびき いま新たな一歩 - 宗道臣デーの活動を通じて』		
成績評価の基準	提出物の有無とその内容、授業出席、授業での態度等も加味し、総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件			
備考			